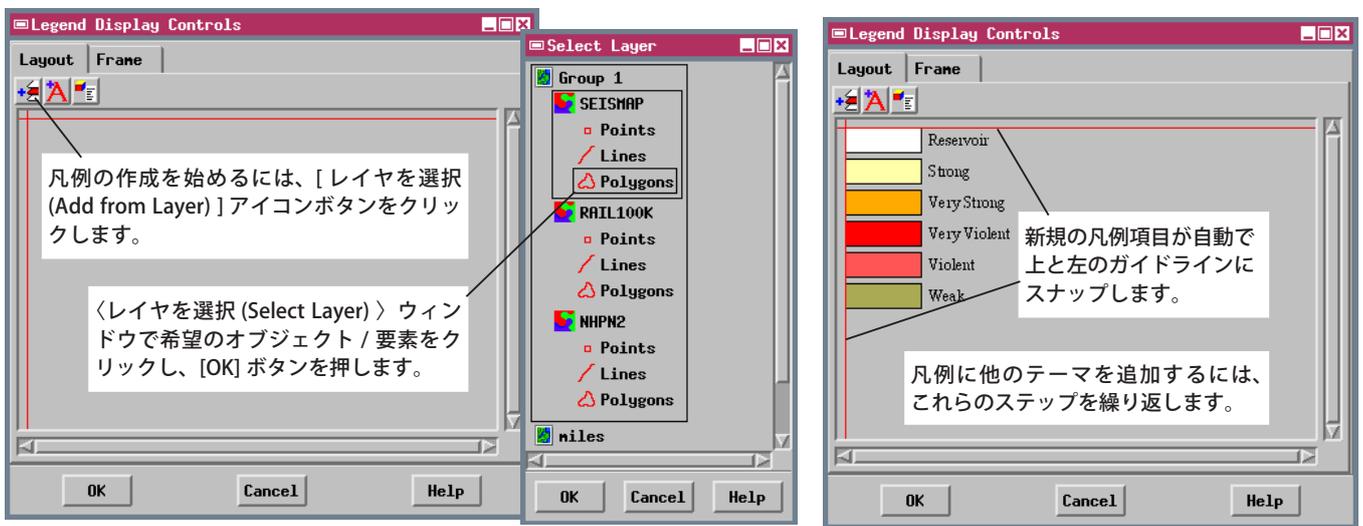


グラフィカルな凡例作成ツール

TNTmips6.4 から、新たにグラフィカルな凡例作成用のツールが提供されました。複数のテーマから成る複雑な地図の凡例を効率的に作成できます。この新しい「マルチオブジェクト凡例」ツールでは、全ての地図レイヤの情報を組み合わせて、レイアウト中に1つの凡例を作ることができます。グラフィカルな編集用ウィンドウも提供され、凡例の項目や見出しをマニュアルで移動したり、サンプルの設定や凡例テキストを編集したり、ガイドラインを追加して複数のコラムをそろえることができます。

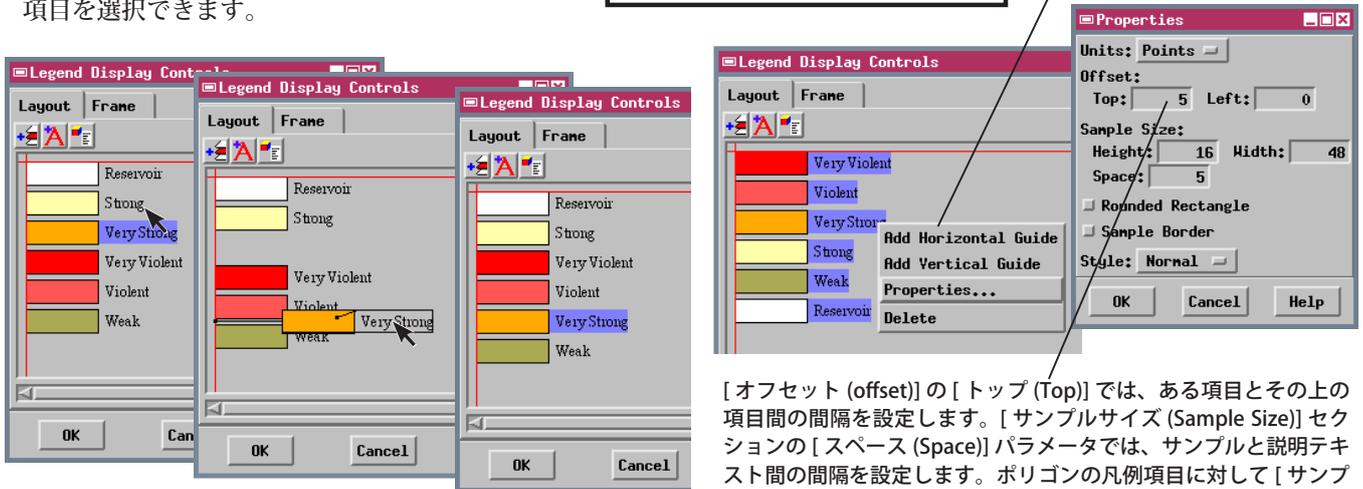
新しいツールを使うには、〈表示マネージャ〉ウィンドウの [凡例の追加 (Add Legend)] アイコンボタンを押します ([加える (Add)]>[凡例 (Legend)] メニューからはこれまでのタイプ別凡例作成メニューも選べます。)。タイプ別の凡例と違い、新しいマルチオブジェクト凡例はプロジェクトファイルに保存するオブジェクトを作る必要はありません。スケールバーやテキスト項目のようにレイアウトの一部として保存されます。



〈凡例レイヤコントロール〉ウィンドウ中の凡例やテキスト要素は、その上でマウスを左クリックすると選択できます。ある範囲の要素を選択するには、shift キーを押しながら最初と最後の項目を選びます。コントロールキーを押しながらクリックすると、連続していない複数の項目を選択できます。

自国の言語を使いましょう
どの凡例タイプにおいても、お使いのコンピュータの好きな True Type フォントを使って、見出しや説明テキストをレンダリングできます。自国のフォントで地図や凡例を作成できます。

1つまたは複数の凡例項目を編集するには、選択した項目の上で右クリックしてポップアップメニューを表示して、[プロパティ (Properties)] を選択します。



〈凡例レイヤコントロール〉ウィンドウ中の項目の順番を変更するには、項目の上で左クリックして希望の場所にドラッグします。各凡例項目はその上の項目に対して位置づけされているので、新たな位置に自動でスペースが作られ、すき間も詰められます。

[オフセット (offset) の [トップ (Top)]] では、ある項目とその上の項目間の間隔を設定します。[サンプルサイズ (Sample Size)] セクションの [スペース (Space)] パラメータでは、サンプルと説明テキスト間の間隔を設定します。ポリゴンの凡例項目に対して [サンプル境界 (Sample Border)] トグルをオンにすると、各サンプルの周囲に境界線を描くことができます (ポリゴンの塗りつぶしと境界線のカラーが同時に便利です)。ラインの凡例項目に関しては、直線的なラインサンプルの代りにジグザグのラインサンプルを指定できます。